

日時 _ 2017 / 11 / 11 / 土 10:00am - 18:00pm

Date _ samedi 11 novembre 2017 10:00h - 18:00h

会場 _ 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス西構内1号館1階0111教室

Lieu _ Institut de Technologie de Kyoto, Campus ouest Matsugasaki,

Bâtiment 1, 1er étage, salle 0111

使用言語 _ フランス語 / 日本語

Langues employées _ français / japonais

国際シンポジウム

ピカソと

人類の

美術

Colloque international
Picasso et l'art de
l'humanité

主催 _ 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系造形史研究室 / 日仏美術学会

Organisateurs _ Bureau d'histoire de l'art et de design de la section Design et Architecture
de l'Institut de Technologie de Kyoto/Société franco-japonaise d'art et d'archéologie

助成 _ 公益財団法人鹿島美術財団 / 公益財団法人ポーラ美術振興財団

Subvention _ La fondation des arts de Kajima / Fondation d'art, Pola

後援 _ 美術史学会

Patronage _ La société japonaise d'histoire de l'art

Designed by Akari Iwamoto

公益財団法人
ポーラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION

ピカソの作品には、時代と地域の違いを問わず、古今東西にまたがっての実に膨大なイメージの記憶が蓄積されている。こうした「人類の美術」への参照を問題にすると、それが、「創造のための原点」であったという前提を共有しながら、「模倣」、「剽窃」、「借用」、「引用」といった様々な言葉で語られてきた。フランスとイタリアから2名のピカソ研究者をお迎えし、我が国で活躍するピカソ研究の第一人者並びにピカソ研究に携わる美術史家を発表者に加えて、ピカソの「人類の美術」への参照の意味を解明する。

登壇者紹介

Présentation des participants

司会進行_吉田典子(神戸大学教授)
Président_Noriko YOSHIDA (Université de Kobe)

10:00 - 10:10
来賓挨拶_高階秀爾(東京大学名誉教授、大原美術館館長)
Discours de l'hôte_Shūji TAKASHINA (Professeur émérite à l'Université de Tokyo, Président du Musée Ohara)

10:10 - 10:20
趣旨説明_永井隆則(京都工芸繊維大学准教授)
Présentation des objectifs_Takanori NAGAI (Institut de Technologie de Kyoto)

10:20 - 11:00
基調報告_大高保二郎(早稲田大学名誉教授)
Conférence principale_Yasujiro OHTAKA (Professeur émérite de l' Université Waseda)
「ピカソと人類の美術—過去との対話・模倣と創造—」
Picasso et l'art de l'humanité-Entretien avec le passé・Copie et Création

11:05 - 12:25
招待講演 I_ロランス・マドリーヌ(フランス文化財主任学芸員)
Conférence de l'invité_Laurence Madeline (Conservatrice en chef du patrimoine)
「ピカソとアングル」
Picasso et Ingres

12:25 - 13:30
昼休憩(Pause déjeuner)

13:30 - 14:50
招待講演 II_カテリーナ・ザッピア(ペルージャ大学名誉教授)
Conférence de l'invité_Caterina Zappia (Professeur émérite de l'Université de Péruse)
「ピカソとイタリア美術」
Picasso et l'art italien

Participants I

14:55 - 15:35
松田健児(慶應義塾大学准教授)_「ピカソとスペイン(美術)—ベラスケスを軸に」
Kenji MATSUDA (Université Keio)_ Picasso et l'art espagnol - autour de Velázquez
永井隆則(京都工芸繊維大学准教授)_「セザンヌに変身するピカソ」
Takanori NAGAI (Institut de Technologie de Kyoto)_ Picasso se métamorphosant en Cézanne

15:35 - 15:45
小休憩(Pause)

Participants II

15:45 - 16:45
松井裕美(名古屋大学高等研究院(人文学研究科)YLC特任助教)_「第二次世界大戦後のピカソの陶器制作と展示における「アナロジー」の思想—過去の継承と再解釈に関する一考察」
Hiromi MATSUI (Université de Nagoya)_ La réinterprétation du passé à travers la création et l'exposition des œuvres céramiques chez Pablo Picasso après la Seconde Guerre mondiale

大久保恭子(京都橘大学教授)_「境界侵犯者としてのピカソのプリミティヴィスム—変奏と独創—」
Kyoto OHKUBO (Université Tachibana Kyoto)_ Primitivisme chez Picasso en tant que transgresseur de limites - Variations et Originalité

町田つかさ(和泉市久保惣記念美術館学芸員)_「ピカソと日本 大戦を越えて、相互的受容の様相」
Tsukasa MACHIDA (Kuboso, Musée d'art mémorial, Izumi)_ Picasso et le Japon : leurs influences réciproques, au-delà de la guerre mondiale.

16:45 - 17:00
小休憩(Pause)

17:00 - 18:00
全体討議 司会_大高保二郎
Débat présidé par Yasujiro OHTAKA

閉会挨拶_吉田典子(神戸大学教授)
Discours de clôture_Noriko YOSHIDA (Université de Kobe)

問い合わせ先
京都工芸繊維大学大学院デザイン・建築学系造形史研究室
t-nagai@kit.ac.jp

アクセス
交通案内_地下鉄(JR京都駅から国際会館行、または阪急烏丸駅下車、四条駅から国際会館行)松ヶ崎駅下車東へ徒歩20分



大高保二郎 Yasujiro OHTAKA
マドリード大学哲・文学部大学院留学、早稲田大学大学院博士課程満期退学。専門はスペイン美術史、バロック美術。跡見学園女子大学、上智大学、早稲田大学各教授を歴任。著書に『ベラスケス』(中央公論社、1978)、ピカソ美術館4『戦争と平和』(集英社)、ピカソ展監修・論文執筆(1995、2002、03、04)、訳書にパラウ・イ・ファブレ『不滅のピカソ(Picasso vivent)』(共訳、平凡社、1983)など多数。



ロランス・マドリーヌ Laurence Madeline
エコール・デュ・ルーヴル(Ecole du Louvre, Diplôme de muséologie)、パリ第4大学(Université Paris IV、修士号、DEA)、国立文化財研究所(Diplôme de l'Institut National du Patrimoine)。専門は、19世紀後半のフランス美術史、ピカソの芸術。著書に、*Les correspondances de Gertrude Stein et Picasso* (Gallimard, 2005) など多数。展覧会企画に、「Picasso, 1932」(Paris, musée Picasso, automne, 2017) など多数。



カテリーナ・ザッピア Caterina Zappia
Ph.D.(メッシーナ大学、シチリア)、ペルージャ大学で近現代美術史を教授。専門は、ドニヤピカソとイタリアとの関係、伊仏交流史。著書に、*Maurice Denis e l'Italia: journal, carteggi, carnets* (Università degli studi di Perugia, 2001) など多数。展覧会企画に、*Fascinante Italia de Manet à Picasso* (1853-1917), Musée des Beaux-Arts de Nantes (2010) など多数。



松田健児 Kenji MATSUDA
上智大学外国語学部卒、マドリー・コンプルテンセ大学博士課程単位取得退学。専門は、ピカソを中心とするスペイン美術。著書に、『もっと知りたいピカソ 生涯と作品』(東京美術、2006)、論文に、「バルセロナにおけるピカソ作品の流通と蒐集—ふたつの個人コレクションと「美術展」」(『西洋近代の都市と芸術9 バルセロナ』(竹林舎、2017) など。



松井裕美 Hiromi MATSUI
東京大学人文社会系研究科(美術史学)を修了後、パリ西大学ナンテール・デファンス校にて修士号(Master 2)及び博士号(Doctorat)を取得。名古屋大学文学研究科特任講師を経て現職に至る。共編著に *Construction et définition du corps* (2015)。共訳に *ジョルジュ・ディディ=ユベルマン『受苦の時間の再モニタージュ』* (2017) など。



大久保恭子 Kyoko OHKUBO
大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。専門はフランス近現代美術史。著書に『プリミティヴィスム』と『プリミティヴィスム—文化の境界をめぐるダイナミズム』(三元社、2009)、『アンリ・マティス『ジャズ』再考—芸術的書物における切り紙絵と文字のインタラクション』(三元社、2016) など多数。第8回木村重信民族芸術学会賞受賞(2011)。



町田つかさ Tsukasa MACHIDA
早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程 単位取得満期退学。早稲田大学會津八一記念博物館助手(学芸員)を経て、2013年より現職。専門はパブロ・ピカソ、特に第二次世界大戦以降の制作とその受容について。第21回鹿島美術財団賞受賞(2014)。



永井隆則 Takanori NAGAI
DEA(プロヴァンス大学)、博士(文学)(京都大学)、京都大学大学院文学研究科博士課程中退。専門はフランス近代美術史、デザイン史。京都国立近代美術館主任研究官を経て現職。著書に『モダン・アート論再考』(思文閣出版、2004)、『セザンヌ受容の研究』(中央公論美術出版、2007)、『もっと知りたいセザンヌ 生涯と作品』(東京美術、2012) など。

